

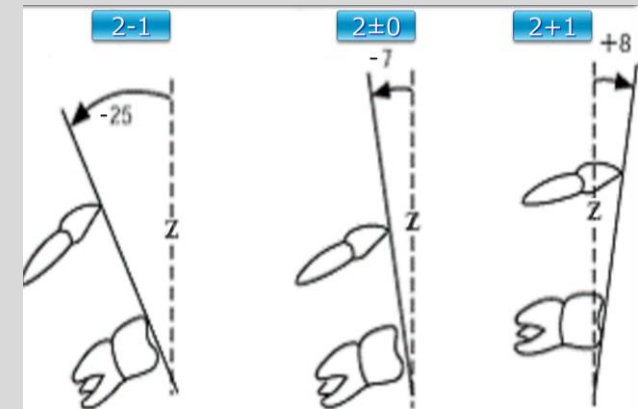
Sim kitの改修について

三島 賢郎

従来のSimkitの問題点

上顎咬合平面の角度設定が違う

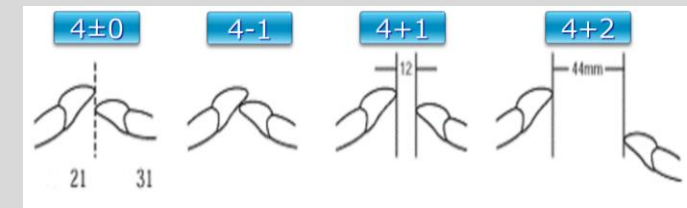
mi2 +1 : 約 -7° ← $(+8^{\circ})$
mi2 ± 0 : 約 -20° ← (-7°)
mi2 -1 : 約 -37° ← (-25°)



最大開口量が少ない

38mm

(44mm)



上顎咬合平面の角度を修正するには大きく分けて2つの方法が考えられる



1. 角度調節の穴の位置を新設

問題点

2の位置を0にしようにしても、ストッパー部分が邪魔になり新しく2の位置を設定できないので、ストッパー部分をカットする必要が発生する。

また、kitを解体して穴部周囲のカット、新たな部材の溶接などが必要。

2. 模型を付けているベースの金属板を曲げる

問題点

模型のベースプレートだけはKitから外す必要があるが、これだけでもなかなか外れない。

開口量を増やすには2つの方法が考えられる

1. ベースプレートを曲げる

2. 模型固定穴の位置をずらす

臼歯部のスペースの拡大も期待できる

作業手順

1. 模型のベースプレートを外す

2. プレートの調整、加工

①プレートを曲げる : 角度の個体差があるので、個々に角度を計測して、 $mi2 \pm 0$ で -7° になるように曲げる

②上顎模型の固定用の穴を開口方向に拡大

3. ベースプレートを装着

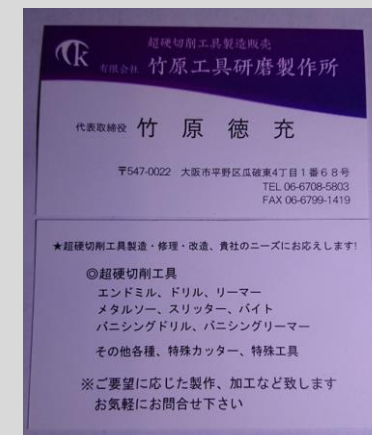
相談・依頼先

竹原工具研磨製作所

大阪市平野区瓜破東4丁目1番68号

TEL 06-6708-5803

FAX 06-6799-1419

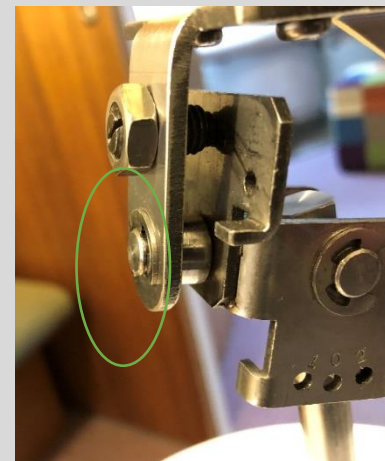
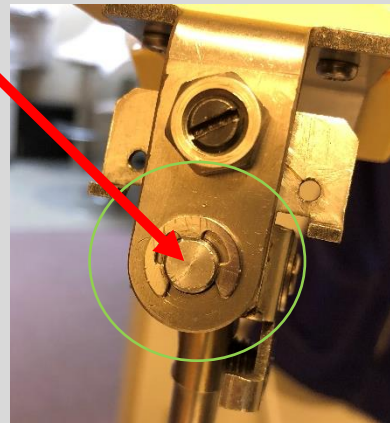


1. 模型のベースプレートを外す

ここのシャフトがなかなか外れない

C字型の金具(スナップリング)を外すとある程度緩むが、棒の頭のところが引っかかって抜けそうで抜けない。

引っかかりのある部分をほんの少し削ると抜ける。



2. プレートの調整、加工

①万力で挟んで、角度を見ながら叩いて曲げる。

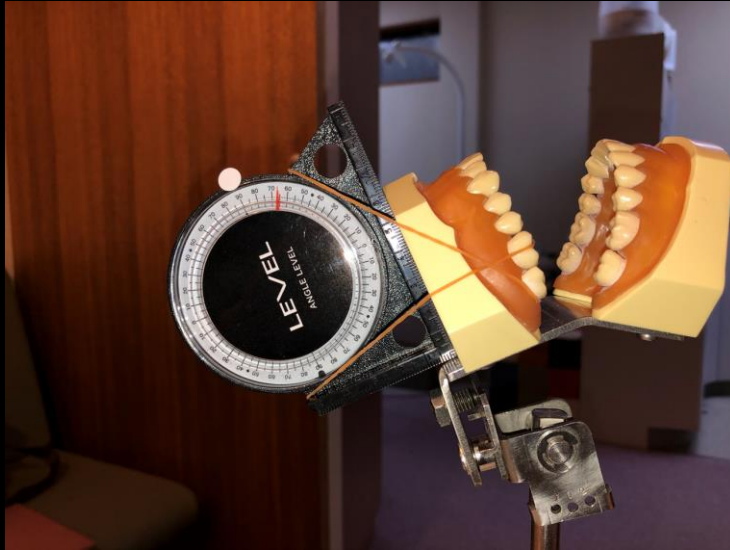
②模型固定穴を拡大



3. ベースプレートを装着

上顎咬合平面の角度(改修後)

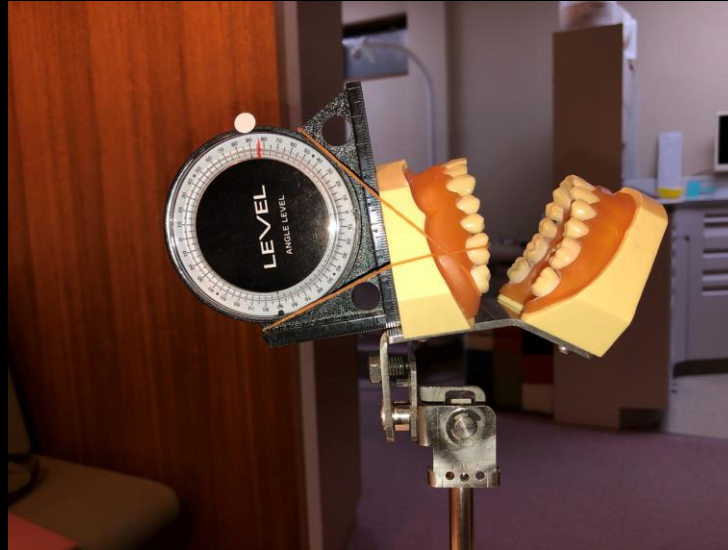
1(mi2-1)



-24°

(-25°)

0(mi2±0)



-7°

(-7°)

2(mi2+1)



+10°

(+8°)

開口量(改修後)

- ・上下顎1番の切端間距離は 約38mm → 約44mm



- ・上下顎7番の咬頭間距離は 約15mm → 約20mm

